

2025 年 4 月のブルーベリー農園その 4

東広島市豊栄町のブルーベリー農園は畑、里山、ため池などがあってそれらを管理しながらブルーベリーを育てている。それは小さなエリアだが春はいろいろな生き物の

姿が活発になっていくさまが見えるので単調なブルーベリーの剪定の作業もあきずに続けられている。メインのブルーベリーも葉が展開し、花が咲きだしたが、ミツバチの本格的な活動はまだ。28 日などは日中の気温が 16 度と低かったので花粉交配でのミツバチの活躍は 5 月になりそうだ。

4 月 23 日（水） 今春初めてのブルーベリー畑の草刈り。畑の入り口を少しだけ刈る。周辺の田んぼではのり面の草刈りがあちこちで始まっている



② ヘアリーベッチ。ほかにレンゲもたくさん咲いている。雑草ではムラサキゴケやカキオドシ、タンポポ、スミレなどが元気に咲いている

4 月 24 日（木） ブルーベリー畑で枝の剪定を続けている



4 月 28 日（月） 農園に午後についたが小雨なので周囲を見て回る

4 月 26 日（土） ブルーベリー畑の地べたの草は昨秋まいた緑肥用の種が大きくなったものといろいろな雑草が混じっている。種から大きくなって花を咲かせているのは

① クリムソクローバー

① 西側の里山で早生のブルーベリーを育てている場所では防鳥ネットの柱の継ぎ目のジョイントがさびてきて、中には折れているところもあるので新しいジョイントに交換しないとイケない

《2025 年 4 月 30 日の「新・ヒロシマの心を世界に」のブログに掲載したものに写真を加えて編集しなおしています》



② エビネが咲きだした



③ サンショウの葉と花



④ 西側の里山のブルーベリー園



⑤ 早生のブルーベリーの花



⑥ 晩生のブルーベリーの花



雨が上がって少しの間畑のブルーベリーの剪定をして、午後6時前安芸区の自宅に車で帰ろうとしたときに上の小さな畑の辺りからキジの鳴く声がしたので足を止めてしばらく観察。キジの立っているこの畑からは下のブルーベリー畑が見下ろせる。その向こうの林のあたりでもう1羽のオスのキジが鳴いている。どちらも縄張りを主張しながら住んでいるようだ。ブルーベリー畑の地べたに今年も巣を作るのだろう。去年は3か所もあった



2025年4月30日

社会福祉法人安芸の郷 理事長 遊川和良